



学校だより

CONTENTS

挨拶 体育祭!／校長 三谷 卓也	2
学生の笑顔と夢の実現のために!／後援会会長 吉田 涼子	2
全国高等専門学校体育大会	
全国体育大会出場報告	3
令和6年度全国高等専門学校体育大会結果一覧	4
令和6年度全国高等専門学校将棋大会結果一覧	4
令和6年度関東信越地区高等専門学校体育大会結果一覧	4
全国高等専門学校将棋大会・コンテスト	5
インターンシップ 2024	7
令和6年度地区文化発表会	8
1 日研修旅行	10
社会見学旅行	12
海外語学研修 2024	14
着任挨拶	15
NEWS&TOPICS	15

第133号

2024.12.13 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
 National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

校長挨拶

体育祭！

今年の秋は連日あまり良くない天気が続いていたためにかなり心配していたのですが、無事、10月24日に体育祭を予定通り行うことができました。

学生達は、それぞれ競技を楽しむことはもちろん、中にはメイドさんやアニメキャラなどのコスプレ（2年前とはコスプレの方向性が若干変わっていたことに、時の流れを感じたのは秘密です（笑））やメイクなど、参加することそのものも楽しんでおりました。

かく言う私も、綱引きでは人数が足りなかったチームに参加させていただいたり、本部テント前で繰り広げられるデッドヒートに思わず熱くなったりと、存分に楽しませていただきました。

おっ!と思ったのが、女子100m走や800m走、そして教職員の100m走です。これらはオープン参加種目のために、前回はいずれも参加者がおらず、競技が成立しなかったのですが、今回はどの競技にも学生や教職員が積極的に参加してくれたのは、皆がそれぞれにこの体育祭を楽しんでいたからでしょう。

このように体育祭が楽しく滞りなく運営できたのも、競

校長 三谷 卓也

技の準備、進行補助や審判、アナウンスや競技結果の集計等々、教職員と一緒に体育祭を盛り上げてくれた、学生会や体育委員、陸上競技部員をはじめとする学生たちの協力のおかげであり、感謝しています。

体育祭が終わると、いよいよ後期も中盤戦。学生達には、ちょっとしんどくなったときには、今日のような楽しいことも思い出しながら頑張ってくださいと思います。



後援会会長挨拶

学生の笑顔と夢の実現のために！

今年度も7月の後援会総会を皮切りに、地区懇談会、学年別生活説明会・進路説明会と、予定していた後援会主催事業の全てを、大きなトラブルもなく無事に実施することが出来ております。これもひとえに、会員の皆様と教職員の皆様のご理解ご協力の賜物と、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。今後は、3・4年生保護者対象の卒業生・修了生による講演会と卒業修了祝賀会を実施予定です。対象学年の会員の皆様におきましては、是非ご参加いただければ幸いです。

さて、今年度も千葉で行われた高専ロボコン地区大会の応援に足を運んでまいりました。

群馬高専は残念ながら予選敗退でしたが、大人の我々には到底思いつかないような若い発想力と、それを形にできる高専生の高い技術力に改めて感銘を受けました。ロボコンに限らず、先日行われた体育祭、部活動や研究活動、海外語学研修など、様々な分野における学生さんたちの活躍

の報告をたくさん聞けることが、後援会役員にとって何よりの喜びでございます。

世の中は驚くほどのスピードで日々変化しています。学生の皆さんにはその柔らかい頭で、常識に囚われず、無限の可能性を信じ、色々なことにチャレンジして欲しいと願っております。私たち後援会は、学生の皆さんの笑顔と、夢の実現のために、これからも全力で応援をしていきます！！

後援会会長 吉田 涼子



2024

全国高等専門学校体育大会

全国体育大会出場報告

陸上競技部

全国大会を終えて

3M 横田 悠音

私は、北海道釧路市で行われた陸上競技の全国高専大会に出場しました。入部時から目標としていた全国大会の舞台ということもあり、かなり緊張感がありました。振り返ってみると、アップ時にあまり体全体の動きが噛み合わず、レース中には思うように走ることができなかったと感じていますが、今まで練習をしてきた分の力を出し切ることができたと思います。ここまで来ることができたのは、ともに部活動で過ごした仲間達や、応援をしてくれた友達、走りたいだけ走らせてくれた家族があってこそのことだと思います。常に自分は周りに支えられているということに感謝しながらこれからもむなみに努力していきたいと思いました。走ることへの情熱を忘れずにこれからも練習を続けていきたいと思っています。最後になりましたが、応援してくださった方々ありがとうございました。



水泳部

SWIM ～北の大地にて～

4M 清水 伶

僕たち水泳部は男子2名3種目、女子1名1種目の計3名4種目で全国大会に出場しました。今年からは正式に2日間開催で予選と決勝が同日行われるという形式になりました。私の出場した種目は、400m自由形でタイム決勝だったため一発勝負でした。適度な緊張と同時に落ち着いた気持ちでレースに臨むことができました。昨年度の大会で今年は北海道開催ということを知り、冬も定期的に泳いだり陸トレをしたり、絶対に出るんだ!!という気持ちで練習を続け勝ち取った全国大会への切符、悔いなく泳げました。選手たちは夏休みで学校のプールが使えない中、各自地元のプールで練習をし、うまく大会に調子を合わせてベストパフォーマンスで泳ぎ切りました。群馬高専だけでなく、関東信越地区の水泳部とも団結して応援したり喜んだり、レース後は他地域の高専の人たちとも交流して新しい仲間ができ、充実した大会になりました。

大会当日は、早起きをして札幌の朝の街へ散歩に出かけ、大通り公園や北海道庁の旧庁舎まで行き、リフレッシュできました。また、夜はライトアップされた時計台やテレビ塔で写真撮影をしたり、駅周辺を散策したりと少し観光しました。さらに、お寿司やジンギスカンなど北海道ならではの食事も堪能でき、北海道を楽しむことができました。

最後に選手の皆さん本当にお疲れ様、そして顧問の伊藤先生、マネージャーとして来てくれた2人、たくさんのサポートをありがとうございました。今後も群馬高専から全国大会に出場できるよう、日々の練習を頑張ります。これからも水泳部の応援をよろしくお願いします。



バドミントン部

全国大会棄権!?

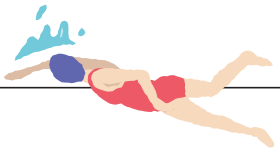
4E 佐藤 悠生

「え!?! 棄権!?!」と驚いた方、正解です。実は私たちバドミントン部、まさかの全国大会を棄権することになりました。大雨で川が増水し、電車が止まってしまい、そのまま車内に閉じ込められるというまさかの展開…。運転再開を祈るも、願いは届かず…。負けるのも悔しいですが、そもそも試合に出られないというのは、さらに悔しいですね。しかし、この経験で私たちは一つ強くなりました。そして、この教訓を活かし、どんな困難にも立ち向かえる強い心を持ち続けたいと思います。



令和6年度 全国高等専門学校体育大会結果一覧

種 目	開催校	開催期日	結 果	
陸 上 競 技	釧 路	9月 7日 9月 8日	男子100m	予選6位 横田 悠音(3M)
			男子円盤投	決勝(体調不良のため出場せず) 狩野 太志(1-5(M))
水 泳	北海道 四高専	8月31日 9月 1日	男子400m自由形	17位 清水 怜(4M)
			男子100m背泳ぎ	5位 黒澤 一輝(2-5(K))
			男子200m背泳ぎ	7位 黒澤 一輝(2-5(K))
			女子50m自由形	予選敗退(9位) 角屋 玲那(2-2(K))
バドミントン	苫小牧	8月31日 9月 1日	棄権(台風接近による公共交通機関遅延のため)	



令和6年度 全国高等専門学校将棋大会結果一覧

種 目	開催校	開催期日	結 果	
将 棋	福 島	8月28日 8月30日	団体戦	予選敗退
			男子個人戦	ベスト8 ベスト32 予選トーナメント敗退 予選敗退(女子総合5位)
			女子個人戦	予選敗退(女子総合5位)



令和6年度 関東信越地区高等専門学校体育大会結果一覧

種 目	開催校	開催期日	結 果	備考
陸上競技	木更津	7月20日 7月21日	男子100m 3位 横田 悠音(3M) 11秒46	全国大会出場
			予選敗退 山口 春舞(1C) 12秒77	
			男子200m 予選敗退 梅沢 丞(1K) 27秒42	
			予選敗退 小玉 太陽(1C) 24秒24	
			男子1500m 17位 起原 舜(1C) 5分05秒39	
			男子110mH 6位 池田 直史(1K) 17秒49	
			男子走高跳 3位 内田 智也(3M) 1m65	
			男子走幅跳 10位 小澤 雄太(5K) 5m47	
			13位 内田 智也(3M) 5m06	
			男子三段跳 4位 勝又 海渡(2K) 12m79	
			8位 小澤 雄太(5K) 11m65	
			男子砲丸投 4位 狩野 太志(1M) 10m29	
			男子円盤投 3位 狩野 太志(1M) 29m29	全国大会出場
			女子800m 6位 大谷 恵舞(2C) 2分49秒96	
			予選敗退 堀越 陽葵(2E) 2分57秒80	
水 泳	茨城	7月 6日	男子100m背泳ぎ 優勝 黒澤 一輝(2K)	全国大会出場
			男子200m背泳ぎ 優勝 黒澤 一輝(2K)	全国大会出場
			男子400m自由形 準優勝 清水 怜(4M)	全国大会出場
			女子50m自由形 優勝 角屋 玲那(2K)	全国大会出場
			男子4×100mドレーラー 6位	
			男子4×100mフリーレー 6位	
			女子4×50mドレーラー 3位	
			女子4×50mフリーレー 3位	
野 球	小山	6月29日 6月30日	1回戦敗退	
			1回戦群馬 1-8 木更津	
バレー ボール	群馬	7月 6日 7月 7日	男子 予選ブロック敗退	
			群馬 0対2 茨城、群馬 0対2 長野 0勝2敗	
			女子 第3位	
			予選ブロック 群馬 2対0 東京、群馬 2対0 長岡 2勝0敗 決勝リーグ 群馬 1対2 茨城	
バスケット ボール	産技品川	6月29日 6月30日	男子 予選リーグ敗退	
			群馬 37-88 長野	
			群馬 58-75 産技荒川	
			女子 準優勝	
			準々決勝 群馬 104-7 産技品川	
			準決勝 群馬 52-43 茨城 決勝 群馬 51-58 長野	

種 目	開催校	開催期日	結 果	備考
サッカー	産技荒川	7月 6日 7月 7日	3位	
			1回戦 群馬 1対0 産技品川 準決勝 群馬 0対2 木更津 3位決定戦 群馬 3対1 東京	
テニス	長野	7月13日 7月14日	男子団体戦 2回戦敗退 1回戦(不戦勝) 2回戦 群馬 1-2 長野	
			男子個人シングルス ベスト8 羽柴 陽輝(1M) 男子個人ダブルス 入賞者なし	
ソフト テニス	小山	7月 6日 7月 7日	男子団体戦 4位 予選ブロック 群馬 3対0 東京、 群馬 2対1 長岡 2勝0敗	
			準々決勝 群馬 2対0 産技品川	
			準決勝 群馬 1対2 小山	
			3位決定戦 群馬 0対2 木更津 男子ダブルス ベスト8 花島 礼雅(3E)・徳留 賢(3M)	
卓 球	茨城	6月29日 6月30日	男子団体戦 3位 女子団体戦 準優勝	
			女子個人シングルス 3位 田中はんな(3K)	
			女子個人ダブルス 3位 原野 恋羽(3J)・菅谷 美羽(3C) 田中はんな(3K)・齋藤 暖(2E)	
バドミントン	サレジオ	6月29日 6月30日	男子団体戦 2位	全国大会出場
			2回戦 群馬 3対0 サレジオ	
			準決勝 群馬 2対1 小山	
			決勝 群馬 0対2 産技荒川	
			女子団体戦 3位	
			1回戦 群馬 2対1 木更津	
			準決勝 群馬 0対2 長野	
			個人戦(シングルス) 入賞無し 個人戦(ダブルス) 入賞無し	
柔 道	長岡	6月29日	男子団体 3位	
			1回戦 群馬 3対2 東京	
			準決勝 群馬 2対3 産技品川	
			決勝 群馬 0対5 長岡	
剣 道	東京	7月21日	男子個人戦 無差別級 3位 渋谷 優治(3J)	
			男子団体戦 予選敗退	
			女子団体戦 4位	
			1回戦 群馬 3対0 産技荒川	
			準決勝 群馬 0対1 木更津	
			3位決定戦 群馬 0対1 小山	
			男子個人 入賞者なし	
			女子個人 入賞者なし	

全国高等専門学校将棋大会・コンテスト

全国高等専門学校将棋大会

全国大会を経て

3J 田村 遥斗

去年の大会で初めて優勝したことから、今年は相当なプレッシャーを感じていた。しかし、そのプレッシャーに打ち勝つために、事前にソフトや定石書を使用した研究を行った。福島での開催ということで、新しい環境での戦いに緊張したが、同時に高揚も感じていた。

結果から言うと、今年は優勝を果たすことはできなかった。完全な実力不足である。しかし、私はこの大会を通じて多くの学びを得ることができた。

将棋に答えはない。だからこそ学び続けなければ強くなれない。さらなる成長を目指し、努力を続けていく。私はそう誓ったのだ。



ぐんまスペースアワード缶サットチャレンジ

缶サットで技術の先の価値を考える

4M 渡邊 真桜

私たちは、7月6日・7日に開催された「ぐんまスペースアワード」において缶サットチャレンジに参加し、優勝・群馬県知事賞を受賞しました。缶サットとは、小型の模擬人工衛星のことを言います。この大会では、その機能性や技術だけでなく、実際の現場を想定したミッションの社会価値なども含めて評価されます。その中で私たちは「惑星気象観測衛星」を掲げ、気温の計測・上空の写真撮影と画像解析による天気の見極め、またそれらを通じた無線通信とWebページ作成により「地上」に共有するというを行いました。技術だけでなく、その先の価値を経営者目線で考え、評価してもらう貴重な経験になりました。



コンクリートカヌー大会

急造船「たけち」

4C 嶋方 淳

令和6年8月3日、私たちコンクリートカヌー愛好会は海の森水上競技場にて開催されたコンクリートカヌー大会に参加しました。

私たちは1か月という短期間でコンクリートカヌー「たけち」を製作し、大会に挑みました。

しかし、結果は海水の侵入によりカヌーが沈没してしまい残念ながら予選敗退という結果となりました。ですが、歴史的にも有名なコンクリート船からとった「たけち」という船名が評価され、ネーミング賞を受賞することが出来ました。

レース結果は残念でしたが、この経験により得られた学びも多くありました。特に今回は時間の制約が大きな課題となったため、更なる時間をかけ細かい設計と綿密な練習をすることが重要であると感じました。

来年度の大会には今回の反省点をしっかり踏まえ、万全な状態で挑むことで更なる成果を獲得できるよう努力していきます。



高専ロボコン2024地区大会

来年は群馬開催

3J 坂元 恵太

ロボット研究会は、9月22日に千葉市で開催された高専ロボコン関東甲信越地区大会へ出場した。

月面探査がモチーフの「ロボたちの帰還」と題された今年の競技では、ロボットを飛ばしたり、オブジェクトを回収したロボットが接地禁止エリアを越えて帰還するというミッションが与えられた。

A・Bの2チームが4月から約5カ月間開発を進めてきたが、試合本番でA・B両チームともロボットの発射に苦しみ、敢え無く予選ラウンド敗退と期待に応えられず悔しい結果に終わった。

今後、オフシーズン期間に経験を積み重ねるとともに技術継承を進め、来年の失地回復へ向けてまい進する。



コンテスト

Contest

Hondaエコマイレージチャレンジ2024

五位の雪辱を胸に

4M 足立 啓真

我々エコパワー愛好会は、10/12、13に渡って、モビリティリゾートもてぎにて開催されたHondaエコマイレージチャレンジ2024 第43回全国大会に参加しました。施設内のオーバルコースを、どれだけ少ない燃料で周回できるかを競う競技です。今回は二輪車クラスのみの出場となりました。前はリタイアに終わった為、今回はバッテリー等の事前準備や運用する上での注意事項の確認とその対策に力を入れました。当日はインカムのトラブルに見舞われながらも、結果は5位で燃費が196km/Lでした。それでも、上位陣との差は未だ大きいので、来年度の更なる記録更新を目指して活動を継続していきます。



第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト(自由部門)

1年越しのリベンジ！

5C 後藤 順太

私たちは今年度の高専プロコンの自由部門で、特別賞と企業賞を受賞しました。実は去年も同じメンバーで本選に出場しましたが、初めてのプロコンは残念ながら敢闘賞という結果に終わりました。チーム全員が5年生になったので、今年度が最後のリベンジマッチです。

相も変わらずギリギリのスケジュールで、大会が終わるその日まで気が気ではありませんでしたが、自由部門全65作品のうち3位タイという好成績を収め、最高の思い出になりました。企業賞のセゾンテクノロジー賞では「CHILL OUT 1年分」と「XRグラス」をいただきました。デスマーチを完走した疲れは、映画鑑賞でもしながら癒そうと思います。



第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト(自由部門)

自己研鑽の機会

4J 藤田 恭輔

私たちは10月に奈良県で行われた第35回高専プロコンの自由部門に参加しました。これは、自由なテーマで独創的な作品を作り、その完成度やプレゼン・デモを評価するコンテストの部門です。

今回私たちが作ったのは、災害などで電波塔が使えなくなり通信が出来なくなった際に、Bluetoothを用いた一時的な端末間通信を行って互いの安否情報を交換するアプリです。残念ながら入賞は出来ませんでしたが、作品を作っていく過程でいろいろな知識や経験を得ることができ、非常に有意義なコンテスト参加となりました。



第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト(競技部門)

全国7位になったよ

3J 山縣 蒼人

高専プロコン競技部門で全国7位になりました！くわしくはYouTubeに試合のアーカイブがあるのでご覧ください！開発の中で、新しい発見など、さまざまな反省と成長がありました。まずは、最適化は最後にやりましょう！バグが見つからなくなります。後々の自分のためにわかりやすくコードは書くべきです。デバックは複数人でやるとよりよい。未来の自分への戒めの意味も込めて。あと、企業賞がすごい。MacBook×5とか。。さて、高専プロコン来年は松江で開催されるそうです。

来年は競技部門絶対に勝つので、よかったら見守っていてね。



インターンシップ 2024

Report



インターンシップ支援室から

本当に多くの方々に支えていただいたインターンシップとなりました

インターンシップ支援室長 出口 米和

みなさんこんにちは。インターンシップ支援室の出口です。4月の学校だよりで「コロナ禍の前と同じように実施できることを、嬉しく思っています」という内容を書かせていただきました。

令和6年夏のインターンシップですが、コロナ前とほとんど変わらない数の企業さんから受入れのお申し出をいただきました。専攻科1年生は全員参加し、本科4年生は105名の学生が参加することができました。この場をお借りして受け入れて下さった企業、大学・研究機関等、群馬高専の関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

今年のインターンシップでは予期していなかった出来事もありました。台風10号の影響により、日程、内容について変更せざるを得なかった事もありました。受け入れ先の方々には学生の安全を最優先にご対応をいただきました。また、変更になった内容につきましては、後日のオンラインでの実施、実習課題などでご対応いただきましたことを合わせて感謝申し上げます。

本当に多くの方々に支えていただき、実施できたインターンシップであったと考えております。

学生達には今年の夏の貴重な体験を活かし、実りの秋に向かって勉学に励んでくれることを期待しています。



正しく恐れる原子力

4K 伊藤 伸明

私は、東北大学金属材料研究所の原子力インターンシップに参加した。「原子力」と聞いて、どのようなイメージを持つだろうか。なんとなく怖く、有害であるものだといった考えを持つ人もいるだろう。私もこれまで原子力に対しそのようなイメージを持っていたのだが、今回この原子力インターンシップに参加し、原子力技術に触れたことで「適切な知識を持ち、正しく恐れる」ということの大切さを知った。ただ危険だからという理由で頭ごなしに否定するのではなく、原理やリスクを理解し、適切に取り扱っていくという姿勢が研究を志す人間として大切であるのだと思った。これからも様々なことに挑戦する中でそのような姿勢を大切にしていきたい。



インターンシップを経験して

4J メイ マー カイン

私は夏季休業中5日間、セイコー NPC 株式会社のインターンシップに参加してきました。

NPCさんの最前線での技術に触れることで、半導体技術への自分の興味がさらに深まり、今後の進路選択に向けて大いに参考になりました。インターンシップに行ってきた一番よかったことは、日本の企業の雰囲気を知ることができたことです。実際に働いている社員の方々から多くの話を聞くことができ、特に製造工程のリアルな現場を間近で見学させていただいたことで、理論と実務の違いを痛感しました。このインターンシップは自分をやる気にさせるためにも、将来を見つめるためにも、素晴らしい経験になりました。

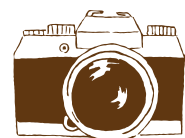
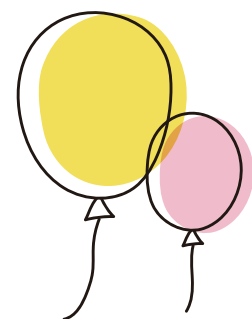


環境技研には分析の全てが詰まっている

環境工学専攻1年 宮下 海光

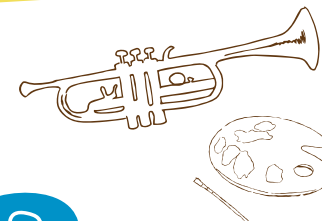
私は、株式会社環境技研に10日間インターンシップに行ってきました。インターン期間中は全て異なる分析を行いました。また、タイトルのとおり、環境技研にはありとあらゆる化学系の分析機器が揃っていました。化学分野を専攻して学んでいる私にとって、このような設備と環境は夢のような空間でした。教科書という紙面上で学んだ分析機器が目の前にあり、どの機器も最新のもののばかりで緊張もしましたが、実際に使用させていただき、より分析の奥深さや面白みを体験することができました。分析分野に興味のある方は是非、環境技研のインターンに参加してみると良いと思います。





令和6年度

地区文化発表会



文化発表会を終えて

学生会文発担当 3J 原野 恋羽



まず始めに、数多くの場面で手を貸して下さった学生課の方々や先生方、2Kの奈良さん、ありがとうございました。自分で行事を執り行う初めての機会だったため、沢山迷惑をおかけしてしまいましたが、みなさんのおかげで無事終わることが出来ました。また文化部のみなさん、素敵な発表をありがとうございました。とても充実した2日間になったと思います。もしまた機会がありましたらぜひ文発に

参加させてください！私にとって本当に貴重な経験になりました。お疲れ様でした！



吹奏楽部

初めての文化発表会を経て

2M 黒岩 風良

先日、地区文化発表会が開催され私たち吹奏楽部も参加しました。

各高専ごとのステージでは、自分たちが少人数だということもありとても緊張しましたが、仲間とともに迎えたこのステージでは、私たちにとってかけがえない経験となりました。

150人での合同合奏では、他高専生との演奏であまりの迫力に、部長として演奏に参加できてよかったと思いました。



文芸部

群馬高専文芸部茨城支社

3E 宮下 結衣

今年の地区文化発表会において、文芸部では例年通り部誌を配布しました。今年は文化祭がないため、普段の活動内容の総括と、部員ひとりひとりの長編作品集の二種類を製本しました。嬉しいことに、どちらも用意したそれぞれ約110部の全てを読んでいただきました。他高専の文芸部とも交流を深め、部誌の交換をしたり、感想を述べたり、普段の活動について話したりと充実した3日間でした。ぜひ皆さんもお読みください。



写真部

貴重な交流

3M 久保木 麻央

先日の茨城文発（第46回関東信越地区高専文化発表会）に写真部は5人のメンバーで参加し、他校の写真部の方々と貴重で有意義な交流ができた。同じ「高専生」であり、写真という媒体、手段を通じて創作に励む仲間たちとのつながりは閉塞的に感じられるかも知れないが、個性的な個々人との意見交換は多様性に満ちており、創作の意欲を掻き立てられるものだった。この感動を原動力に今後も積極的に活動していきたい。



美術部

他高専開催を通じて

3M 降旗 翔大

入学以降、他高専での文発開催は初めてだったがそれは他も同じく、他高専での文発開催を経験しているのが専攻科の先輩のみで最初は不明な部分が数多くあった。そして、文発に向けて準備をしていく中で改めて「部長」という立場を理解させられたと感じた。

振り返ると改善点や後悔は無いと言えば嘘になるが、それも含めて自分にとって「文化発表会」というイベントはこれ以上ない有意義な時間を過ごすことができた。



理科部

楽しかった文化発表会

3E 相川 将吾

今回初めての群馬高専外部での文化発表会に参加してきました。行きのバスの中ではしっかり発表できるのか、そもそも展示物が壊れていないかととても心配でしたが、何も問題なく私たちの展示物の電子ピアノやLEDを使ったイルミネーションのようなものを展示することができ、多くの他高専生や関係者の方々に展示物を見たり遊んだりしていただきました。また、他高専のライブや展示物、演奏会をみたり、全高専合同のピンゴ大会に参加したりして、とても文発を楽しむことができ、充実した三日間でした。



茶道部

外部で初めての部活動

3K 清水 咲良

私は今回の文化発表会が初めての茶道部としての外部の活動でした。いつもの部活時の練習とは違う場所、教えて下さる先生が居ない状況でのお茶会は不安なことも多かったのですが、たくさんの方に来ていただき、楽しい空間を作ることができました。また、他高専の方々のお茶会の発表にも参加し、自分達とは違う流派の作法の違いや、今回のお茶会でのおもてなしの方法に少しずつ違いがあり、とても勉強になりました。



SF研究部

問題だらけの我が部活

3K 和田 隼佑

SF研究部です。例年であれば、観客参加型のライブRPGと、部誌の頒布を行っていました。しかし、今年はライブRPGを行えるスペースが確保できず、それに加えて、プリンターの故障により思うように部誌を印刷できないというアクシデントに見舞われたのです。

そこで、前年のライブRPGの映像を編集し、PCで流すことにしました。部誌は予定していた量の半分しか頒布できませんでしたが、当日は大きな問題無く行っていたことと思います。



電算部

文化発表会での交流

3J 生方 来夢

電算部はゲームの展示と部誌のデジタル配布を行いました。今回の部誌は昨年度より多くの部員が記事をそれぞれ書いたことで、様々な知識が共有できました。また、同じ電気系の他高専との交流でそれぞれの得意な技術を見聞させることができ、自分たちの分野をより広く知る良い機会になりました。来年でも知識、技術が交流できるよう、さらに勉強しておきたいと感じました。



演劇部

県外での公演

3M 小暮 勇斗

8月31日～9月1日、ひたちなか市文化会館にて関東信越地区文化発表会が開催された。

一昨年在オンライン参加、昨年在群馬高専にて行われたので、実に3年以上の時を経て、群馬高専演劇部は群馬を飛び出したということになる。県外の現地文発、ホール公演など、何もかもが初めての状態で今回の公演を迎えたが、無事成功することができた。



ダンス愛好会

かましすぎた文化発表会

3M 安藤 風舞

私は初めて文化発表会に参加しました。そして、2年間参加しなかったことを後悔しました。忘れられない思い出がたくさんできたからです。ダンス愛好会は文発に向けて何ヶ月も前から練習していました。曲数の多さに苦戦することもありましたが、練習を重ねるごとにみんなそれぞれ上手になっていき、一緒に踊るのがだんだん楽しくなっていました。MCとして喋るのもみんなすごく上手なので、ぜひ見てほしいです！そして文発当日、緊張していましたが他高専の応援でいつの間にかリラックスしていました。そこで友達を作ることでもできたので、応援は最高だということがわかりました。群馬高専の番にはたくさんの観客が来てくれました。仲の良さが群馬高専ダンス愛好会の強みなので、発表中も楽しく、笑顔で、キレキレで踊ることができました。色んな人から、最高だったと言ってもらえて、みんなで照れながら帰路につきました。来年の文発がもう楽しみです、その前に体育館で公演がいくつかあります！ぜひ一度だけでも見に来て、一緒に盛り上がりませんか？文発で一段と磨きがかかったダンスをお見せします。



ヤクルト研究の最前線

1年1組 小野田 叡仁



私たちは、担任の石川先生の古巣であるヤクルト中央研究所を訪れた。研究所では、研究で使われている設備などを見学させていただいた。私はJ科であるため、研究よりも研究用の機械の方に目が吸い寄せられてしまったが、これらの設備のもと商品が開発され、私たちの体内に届くと考え、とてもワクワクした。研究所を後にして、昭和記念公園と南極・北極科学館を訪れた。特別な体験をさせていただいた先生方に感謝申し上げます。

未来を感じる科学の旅路～日本科学未来館での発見～

1年2組 松上 裕哉



日本科学未来館では、最新の科学技術に触れることができ、とても刺激的でした。特に「Geo-Cosmos」の展示は地球環境について深く考えさせられました。ロボットの体験コーナーでは、技術の進歩に感動しました。普段の授業では得られない学びがあり、科学の面白さを改めて実感しました。未来の技術に興味を持つ良いきっかけになったと感じています。

素晴らしい1日

1年3組 萩原 琉音



私たち1年3組は、9月19日に東京の上野にある国立科学博物館に行きました。私たちの班は、まず昼食をとり、その後、恐竜の化石を見ました。ボランティアの方から、恐竜の卵についての話を聞きました。恐竜は体の大きさに比べて卵は小さいそうです。また、魚や動物、虫、微生物などの展示物も見ました。天井からぶら下がっていた鯨の模型が圧巻でした。群馬高専入って初めての夏の思い出の1つになりました。

宇宙センターと植物園に行きました

1年4組 川崎 澄玲



1年4組は、JAXA筑波宇宙センターと国立科学博物館つくば実験植物園に行きました。宇宙センターでは、JAXA職員が、国際宇宙ステーションで日本が管理している「きぼう」を制御している様子を見ました。宇宙では、宇宙でしかできない実験があると知り、驚きました。また、植物園では園内の色々な植物を見て回りました。世界中の様々な植物がありました。初めて宇宙センターと植物園に行ったので、とても充実した一日になりました。

初めての研修旅行

1年5組 狩野 太志



私たち1年5組は、研修旅行で東京都上野にある東京国立博物館を訪れました。上野では自由行動だったので、博物館を見学した人は少ないかも知れませんが、今回は私が見学した博物館の展示についてお話しします。私は生物フロアと世界の産業・文化の歴史フロアなどを見学しました。普段から使っているスマホやパソコンの歴史などが詳しく展示されていました。興味深いものばかりでした。今回見学できなかったフロアを機会があったら見てみたいと思います。

「はかる」で世界へ

2M 大川 ジョン勇司朗



今回2Mは神奈川県川崎市にあるミットヨ本社を見学した。モノづくりの基本となる計測器の日本初の国内生産を成功させたという会社だ。工場内は様々な顧客のニーズに応えられるように温度管理や職人による手作業が行われていた。ミットヨという会社名は「三つの富」が由来らしい、仏教の思想を持っている会社であり、日本から世界に自社製品と仏教を広めている。今の日本産業の基盤に触れることができたと思う。

体感する未来科学

2E 浅野 悠里子



2Eは日本科学未来館を訪れました。宇宙や地球環境、生命、ロボットなど幅広い分野の展示が

数多くありました。人間が抱える社会問題と結びつくものも多く、漠然としていた未来というものを以前より少し明確に考えるきっかけとなったと思います。常設展の地球の模型は、まるで自分が宇宙にいるかのように思える程大きく、心を掴まれました。館内にはクイズ形式やゲーム形式であったりと体験型のものが多く、身を持って「未来科学」を感じることができました。

私達の高専紀行

2J 秋山 琴音



私達2Jは、横浜にある『新横浜ラーメン博物館』と『横浜情報文化センター』を訪れました。新横浜ラーメン博物館では、『来々軒』というお店に寄りました。濃厚な醤油ベースのスープと、ツルツとした食感の細麺。食べた瞬間、虜になりました。横浜情報文化センターでは、テレビ局の仕事を体験しました。マイクを用いて喋ることで、現場にいる様な感覚を味わえました。沢山の魅力に気づけた、楽しい研修旅行になりました。

またまた国立科学博物館

2K 岩下 華奈



私達2Kは上野にある国立科学博物館を訪れまし

た。私は去年も研修旅行でここを訪れていたため、正直気が進みませんでした。しかし、行ってみると色々な展示があり楽しかったです。特に印象に残っているのは、江戸時代人柱女性ミイラの展示です。ほとんどの展示が写真撮影出来る中で撮影が禁止されていました。理由として「死者の尊厳を守るため」と書かれていました。それは、死者としての尊厳について考えさせられ、とても貴重な体験でした。

研修旅行を通して

2C 喜多 颯



私たち2Cは今回「国土交通省関東技術事務所建設技術展示館」に行った。特に面白かったのは「災害対策車両の見学」だ。その場にあった対策本部車がとても印象的だった。対策本部車は2台で一つの部屋を作り上げる車両だ。主に災害被災地などに赴き、作戦会議を行うために使用される。

今回の研修旅行で体験させてもらったことをこれからの学習に繋げてより一層知識を深められるように励んでいきたい。

ああ 良き天気 心安～長すぎて却下されちゃったから～省略～父さんかつこいい!

3M 宮田 燈一郎



モビリティリゾートもてぎでの3時間は、友達との楽しい思い出が詰まっています。まず「ホンダコレクションホール」で昔の名車やバイクを見て感動。その後、「グランツーリスモカフェ」でレースのシミュレーターを体験し、ほとんど人がいなかったため、思い切り遊べました。短時間ながらも、車の歴史と未来を同時に楽しめた特別な体験でした。

日本一の加速器SuperKEKB

3E 浅井 裕大郎



3Eは茨城県にある高エネルギー加速器研究機構（KEK）へ行きました。KEKでは電子や陽電子を用いた様々な装置があり、中でもSuperKEKBと呼ばれる周長3kmもある装置の大きさが印象に残りました。装置の使用用途や内容は今後学ぶような知識を多く含んでいたため、研修旅行で得た経験をこれからの学習に生かしていこうと思いました。また、以前から興味があったつくば市の街並みを見ることができたのでとても有意義な一日となりました。

研修旅行を終えて

3J 血脇 楓輝



今回の研修旅行では、大洗水族館とルネサスエレクトロニクス株式会社へ見学に行きました。大洗水族館では、さまざまな魚を見たり昼食を食べたりして楽しい時間を過ごせました。ルネサスエレクトロニクス株式会社では、主に半導体のことを説明していただきました。半導体がどんどん小さく、そして繊細になっていることを知れました。この研修旅行によって自分の将来を見つめなおすことができました。

楽しかった研修旅行

3K 小林 朔



3Kの研修旅行では、神奈川のカップヌードルミュージアムと日本ゼオン株式会社に行ってきました。カップヌードルミュージアムでは、チキンラーメン作りを体験しました。普段食べているチキンラーメンを自分の手で作ることができた良い経験となりました。次に行ったゼオンでは、工場内を回り、施設の説明を受けました。身近にあるゴムが作られる過程を見ることができました。日々の生活があるのはこういった影で支えてくれている人達がいるからこそであり、将来自分もこうなりたいと思いました。

研修旅行を終えて

3C 杉原 菜々



私たち3Cは今回、東京スカイツリーへ行きました。私は友人たちと観光を兼ねてスカイツリーを見学し、周辺を散策する中で、スカイツリーの構造や地下の活用方法について興味を持ちました。私たちの生活の中にはこれまでに学んだことやこれから学んでいくことが多くみられ、高専での学びがどこかで私たちの生活を豊かにしていることに気づかされました。この体験を通してより学びを深めていきたいです。



社会見学旅行

景観とグルメを満喫

4M 串田 海人

私たちは9/17～19で京都・奈良に行きました。まず初日は京都府の久御山町にある「KTCものづくり技術館」を見学しました。施設ではKTC（京都機械工具株式会社）の事業内容や工具の製造工程を学んだ後、工場内で実際に工具が鍛造される工程を間近で見学することができました。見学後は宇治と伏見稲荷で自由散策をしましたが、歴史ある寺院と雄大な山や河川の美しい自然の、趣ある風景が印象に残りました。2日目はグループ別の自由行動日となりました。自分達の班では京都の観光スポットで有名な歴史ある寺院を巡りつつ、茶団子やわらび餅といったスイーツ、京都ラーメン、

ニシン蕎麦など、京都ならではのグルメを堪能しました。そして最終日には近鉄特急で奈良へ移動し、東大寺にて解散となりました。解散後には関西に留まるグループや遠くは九州へ向かうグループもありました。工具の鍛造や日本文化を学んだだけではなく、各自で旅行の行程を立てる経験などができ、非常に有意義な旅行になったと感じています。



未来を感じた旅行

4E 柳 咲吾

4Eは社会見学旅行で京都と大阪を訪れました。1日目は、京都にある「京セラ文化施設」を見学しました。「京セラ」はファインセラミック部品、電子部品、機械工具、スマートフォンなど多岐にわたる製品を手掛ける企業です。施設内にはファインセラミック館があり、「京セラグループ」の製品が展示されていました。製品の重さや硬さを体験できる展示を通じて、製品の特性を学ぶことができました。

2日目と3日目は、京都と大阪市内で班別見学を行いました。特に印象に残ったのは、道頓堀周辺のたこ焼き屋の多さです。3日目には「ユニバーサルスタジオジャパン」にも訪れ、充実した時間を過ごしました。

最終日には、「おおさか ATC グリー

ンエコプラザ」を見学しました。大阪万博に関連する展示が行われており、会場の一部を遠くから見ることもできました。

今回の見学旅行では、「京セラ」や「おおさか ATC グリーンエコプラザ」で新たな知見を得ることができ、工業分野に携わる上で非常に貴重な体験ができたと思います。



学びと充実の社会研修旅行

4J 西場 真翔

私たち4Jは、社会見学旅行で京都大学と神戸にある理化学研究所を訪問しました。

1日目の京都大学では、梅野教授の地震予測に関する研究について、研究員の方からお話を伺いました。衛星を使って電離層の乱れを観測し、それを基に大地震を予測するという梅野教授の研究は非常に興味深く、今後多くの人々の命を救う可能性がある点に強く惹かれました。

私も将来、そのような研究に携わりたいと思いました。

2日目の理化学研究所では、スーパーコンピュータ富岳を見学しました。約400個のラッ

クが大きな部屋に並び、一つのコンピュータとして機能している様子を目の当たりにし、その規模に圧倒されました。また、富岳を活用した生成AIについてのお話も伺い、私たちも学習ツールとして活用していきたいと感じました。

今回の社会見学旅行では、工学分野の将来性を実感すると共に、友達との楽しい思い出も作ることができました。



K科で京都・大阪へ!

4K 熊倉 実梨

私達4Kは、3泊4日の社会見学旅行で京都・大阪に行きました。2日目に訪れた京都大学では、群馬高専K科を卒業した後、京都大学を卒業、農学部に着任した北隅優希准教授のお話を聞きました。なんと北隅先生は自分と同じ小・中学校卒業ということでもとても驚きました。体験談として、大学に入学してみると高専の授業はとても丁寧だと感じた聞き、今の授業の大切さと高専の先生方の偉大さに気付かされました。また、キャンパス内を歩いていると話し合いながら勉強している京大生を見かけることが多く、たくさんの刺激を受けられた1日でした。京都から大阪に移動し、班別自由行動日にはUSJに行きました。人気のマリオのエリアにも行くことができ、期間限定イベントの踊っているゾンビも運良く見られて幸せな日でした。

た。楽しすぎて気がついたら電車が反対方向に進んでいるなどのハプニングもありましたが、それもいい思い出となりました。



研修旅行の思い出

4C 安藤 夢歩

9月17日から20日に3泊4日の研修旅行に行ってきました。

初日は、飛行機で福岡県に行きました。そこでは大宰府天満宮とマリンワールド海の中道を訪れました。夜は自由だったので牛もつ鍋や鶏皮串など福岡の名物を楽しみました。九州は他にも博多ラーメンなどまだまだ多くの名物があるらしいので、また九州を訪れたいと思います。

2日目は、新幹線とバスで兵庫県に行き、「阪神高速先進技術研究所震災資料保管庫」と「人と防災未来センター」を訪れました。そこでは阪神・淡路大震災を再現した動画を大画面で見ることができ、被害の甚大さ、地震の怖さを実感しました。

3日目は、大阪府での自由行動でした。私は人生初のUSJに行きました。ハロウィンと被っていたので仮装してゾンビから逃げるなど非日常を味わうことが出来、とても楽しく1日が

あっという間に感じました。

最終日は京都府の嵐山を訪れました。そこで渡月橋などを中心に日本の古き良き文化や建造物に触れ、昔ながらの建造物に興味をもちました。そこで京都駅で解散した後、清水寺を訪れ、世界遺産にも登録された京都の建造物をより深く感じる事が出来ました。

多くの貴重な経験ができて有意義な4日間でした。



海外語学研修 2024



国際交流室から

チャレンジしてみよう!

国際交流室長 熊谷 健

この夏、多くの学生が海外研修に参加した。オーストラリア・ケアンズ語学研修（1週間）40名、フィリピン・セブ島語学研修（3週間）20名、トビタテ留学! JAPAN（タイ）2名である。春にはオーストラリア・シドニー語学研修も予定されており、群馬高専史上初めて年間100名を越える学生が海外研修に参加することになる。何事も初めてのことに躊躇しがちである。一歩踏み出す勇気があれば、皆さんの人生が大きく変わっていくかも知れないのである。



長期語学研修 ▶ フィリピン・セブ島 8/25～9/14

フィリピン料理がうまい

生産システム専攻1年 柳原 知佳

フィリピン料理の特長が肉、スパイス少なめ、味濃いめで、完全に私好みでした。平日は毎食和食でしたが、どのみちおいしかったので、日本にいたときよりもよく食べていました。

英語力についてはフィリピンに行く前と後であまり変化は無いように感じていたのですが、つい先日行われたTOEIC IPで変化を実感しました。以前であればリスニングの前半で気力を失っていたのに、今回は最後まで気力が残っていました。これが一番の収穫です。



フィリピン料理「シシグ」

短期語学研修 ▶ オーストラリア・ケアンズ 9/1～9/8

人生で一度は行って欲しい場所“ケアンズ”

1年2組(C) 和田 ののか

9月、私は人生で初めてオーストラリアに行きました。行く前から緊張していましたが、ケアンズでの1週間はあっという間に感じるほど充実していました。

今回の研修で1番心に残ったのは、ケアンズに到着して初めて見た朝焼けと海辺の景色です。長時間のフライトで日本から出たという感覚があまりなかったのですが、綺麗な朝焼けと海辺を見たことで本当にケアンズに来たのだと思えた瞬間でとても感動したのを覚えています。

是非、短期海外研修で感動するような景色を探してみてください!



長期語学研修に行って一脱線・乗り換えー

4E 岸 駿也太

平日の授業は楽しかったです。授業内容から脱線することも多く、脱線した先でさらに乗り換えもしたんじゃないか、というくらい脱線することもありました。先生が予定している範囲までちゃんと進むのか、こちらが不安になるくらいでした。

週末はジンベエザメと泳いだり、マッサージを受けたり、ECCの学生みんなで食べに行ったりして楽しめました。

写真は高崎のイオンモールが5個くらい入るSMモールというものです。大きかったです。



海外研修で得た自信と成長

3J 石井 悠斗

この海外研修は非常に楽しく、文化に直接触れる機会を得て、リスニング能力も向上しました。それ以上に、海外での生活を乗り切ったことで自信がついたことに驚いています。研修後の報告会では発表者として立ち、この学校だよりも文章を書いているのですが、参加前は考えもしなかったことです。新しい挑戦に対して積極的になれるようになりました。この研修は自分を大きく成長させる貴重な経験となりました。



Arrival greeting 着任挨拶

教育者、研究者、技術者の3足の草鞋を履く

環境都市工学科 助教 渡邊 祥庸



Profile

- ① 出身地 群馬県太田市
- ② 前職 鹿島建設株式会社
- ③ 最終学歴 長岡技術科学大学大学院エネルギー環境工学専攻 学位：博士(工学)
- ④ 研究分野 地盤防災、ICTによる土木設計・施工の合理化
- ⑤ 趣味 写真撮影
- ⑥ 座右の銘 絶えず改良を試みよ、「できない」と言わずにやってみよ

本年度の9月より、環境都市工学科の助教として着任した渡邊祥庸(わたなべよしのぶ)と申します。群馬高専のOBであり、2010年に専攻科環境工学専攻を修了しました。

8月までは鹿島建設株式会社に勤めており、4年程度現場監督、8年半程度土木構造物の設計をしていました。この中で、自身が設計した土木構造物を現場で建設するという、技術者冥利に尽きる経験をさせていただきました。次のチャレンジとして次世代を担う土木技術者を育成する教育者、現在の土木分野の課題解決に取り組む研究者となるべく新たな一歩を踏み出しました。

教育者・研究者としてはまだまだ若輩ですが、これまでの技術者としての経験と知識を惜しみなく学生に伝えていきたいと考えています。これからどうぞ、よろしくお願いいたします。

NEWS&TOPICS

ニュース&トピックス

在外研究報告

アルゼンチンで

教育研究支援センター 技術専門職員 栗原 礼乃

私は現在、南米アルゼンチンのリオ・クアルトという、日本からは地球の反対側に位置する街に滞在しています。ここではスペイン語が使われ、英語はほとんど通じません。アルゼンチンは歴史的に多くの困難を経験してきた国で、特にここ数十年に起こった軍事政権下での弾圧や国外との紛争は、今も人々の生活に深い傷跡を残しています。このような日本とは全く異なる環境に身を置き、新しい経験や文化に直接触れるために私はこの国に来ました。



学生たちも大学内の施設でバーベキューを楽しんでいます

アルゼンチンでの生活は非常に厳しく、インフレ率が200%を超える状況は私の想像をはるかに超えていました。インターネットの情報だけでは分からない現実が目の前に広がり、実際に生活して初めてその深刻さを痛感しました。それでも、人々はたくましく、困難を乗り越えながら日々を楽しむことを忘れません。

その一例がバーベキュー文化です。アルゼンチンは世界有数の牛肉消費国であり、毎週末、家族や友人たちとバーベキューを楽しみます。街全体が牛肉を焼く良い香りに包まれ、その香りを感じるたび、逆境の中でも人生を楽しむ彼らの強さとしなやかさを知ることができます。

この滞在中、私は実際に自分の足で動き、体験することの素晴らしさを改めて実感しています。学生の皆さんにも、たくさん行動し、体験の楽しさを味わってほしいと心から願っています。きっと新しい発見が皆さんの未来を豊かにしてくれることでしょう。

DCONサマープログラム「AI実践ブートキャンプ」

2024年5月に開催されたDCON2024で4位の成績を獲得したことを受けて、DCONサマープログラム「AI実践ブートキャンプ」のオンライン特別講義を、東大・松尾研の修士/博士の学生に來校いただき全国高専に配信しました。データサイエンスの基礎からディープラーニングの基礎、生成AIを含む発展的なテーマまでカバーする充実した特別講義で、あらゆる分野で大きな武器となるスキルを習得できる機会とあって、本校の学生が対面で14名、オンラインで16名が受講しました。(環境都市工学科 教授 木村 清和)



わくわくAIブートキャンプ

3J 濱田 遥仁

6日間にわたるAIブートキャンプに参加しました。このブートキャンプでは9時から18時までの集中講義で行われました。そこでは、Pythonの基礎から学び始め、データサイエンスや深層学習、CNN、RNN、そしてChatGPTのベースとなるTransformerまで、実際に手を動かして学びました。加えて、授業の中には起業概論もあり、技術でどのように社会に役立てるかを考える機会がありました。最後の2日間には、生成AIや大規模言語モデル、強化学習などの最新技術の概要について学び、AIの未来の可能性を感じました。また、数値から推論するデータサイエンスと画像から推論するディープラーニングのコンペティションにも参加し、私は両方で3位に入賞することができました。課題に対し、自分でコーディングして自分の成長を強く実感することができました。この6日間でAIで技術の進化を肌で感じるとともに、今後の学びに大きく活かせると思いました。



ニュース&トピックス

令和6年度 球技大会&体育祭

一般教科(人文科学)教授

櫻岡 広

球技大会について

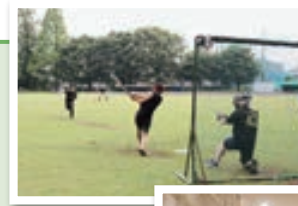


6月21日(金)に令和6年度球技大会が行われました。お昼ごろに雨が降るという天気予報でしたが、開会式時には降っていなかったため諸般の事情を鑑み強行しました。昼前に雨が降り始め、テニス・ソフトボール・フットサルは一時中断となりました。結局、テニス・ソフトボールはそのまま中止となってしまいましたが、各チーム1試合は出来たということでご勘弁ください。フットサルはグラウンドの水はけの良さが幸いし、決勝戦まで行うことができました。毎年のことではありますが、審判をしてくれた各部の学生諸君に感謝します。

各種目の優勝チームは右記の通りです。

球技大会優勝チーム

フットサル	4年電子メディア工学科
テニス	雨天中止
ソフトボール	雨天中止
バレーボール	4年電子メディア工学科
バスケットボール	1年4組
卓球	5年物質工学科



体育祭について

10月24日(木)に令和6年度体育祭が行われました。10月に入っても残暑のような暑い日が続き、気温が高くなってしまうことを心配していましたが、過ごしやすい天気で行うことができホッとしました。前回(令和4年度)の体育祭はコロナ禍で体育祭を経験した学生がほとんどいない状態での開催となり、進行が滞りましたが、今回は学生諸君の協力により招集がスムーズに行われ、ほぼ予定通りに行うことができました。また、各競技の競技場所を取り囲むように多くの学生が出演している選手を応援してくれて、出場選手だけでなく多くの学生が楽しんでくれたことと思います。

最後に、運営・進行にご協力いただいた、教職員ならびに体育委員・陸上競技部員・学生会の学生諸君に感謝します。

クラス順位は右記の通りです。

体育祭クラス順位

1位	4年物質工学科
2位	3年機械工学科
3位	4年機械工学科
4位	1年5組
5位	4年電子メディア工学科



編集後記

これを書いているのは10月末で、秋の気配は感じるものの、日によってはまだ暑かったりします。温暖化の影響もあるのでしょうか？例年であれば衣服を秋物に入れ替えている時期ですが、今年は秋物をすっ飛ばして一気に冬物に入れ替えることになりそうです。この号が発行される頃は冬休みも近づいてきて開放感(?)を感じている頃かと思います。2024年も残りわずかですが、引き続き健康に気をつけてつつ充実した毎日を送ってください。

(広報委員長 高橋 徹)